京城日報
二十一日夕刊
(朝夕刊併せて八頁)

○露國內閣組織

東京特送電に依れば政權は全くレーニン一派の手に歸しツロッキー內閣組織されたり(電通)

○戰線を顧る遑無し

露國大本營に召集されたる陸海軍代表者會議の結果露國は戰線の事を顧みるに遑無し全く無政府の狀態なり國家は戰線の事を顧みるに遑無し全線の軍隊は飢寒に苦しむ後方よりの糧食防寒具の輸送杜絕に依り非常なる飢寒に陷れつゝあり速に民亂を中止し國內の秩序を恢復せば可し然らざれば飢寒と苦難より脫す可く戰線を撤退するの已むなきに至らんと(哈爾賓電報)

○全戰線撤退聲明

[illegible]國內の秩序恢復せざれば全戰線を撤退するの已むなきに至らんと(哈爾賓電報)

○哥薩克兵勢熾烈

今やドン地方を占有し進んでカールコフ及びオデッサ[illegible]の各市を包圍し莫斯科の西南なるウイアズマを[illegible]下哥薩克兵二萬は莫斯科へ向け進軍中なり(哈爾賓電報)

○段氏再び辭表提出

段總理は再び辭表を提出せるが馮總統の請に依り一週間の留任を諾し後繼內閣の組織に着手すべし[illegible]林長民、汪大燮氏等の辭表は途中にて[illegible]未だ後繼の[illegible](北京特電)

○後任は王士珍か

十七日直隸督軍曹錕、江蘇督軍李純、湖北督軍王占元、江西督軍陳光遠四氏より「時局紛爭到底武力を以て解決すべからず[illegible]」との來電の件に就き協議したるが其の結果段總理は內閣の方針一變せずして再び辭職せり馮總統は後任者決定迄段總理の留任を請ひ依つて段總理は陸軍總長兼任のみを辭し後任には王士珍氏陸軍總長を命ぜられたり之れ王士珍氏の總理代理たらん前提なる可し尚總統府側と進步黨との[illegible]の結果段內閣は遂に維持す可からざるに至れるものと認めらる(北京特電)

○湖南大敗善後策

段內閣は湖南の大敗の善後策を講ずるに急なり尚馮總統は陸軍次長徐樹錚氏を黜くるか財政總長梁啓超氏の罷職を請すかの境に立てり進步黨系閣員は梁氏と進退を共にす可し(北京特電)

○守備隊引揚

元山守備隊は來月十六日を以て全員引揚を了し咸興聯隊に合併すべしと(元山特電)

○品評會開會式

釜山、東萊、密陽聯合品評會は二十一日午前十時開會式を擧行せり(釜山特電)

○政務總監著元

山縣政務總監一行は二十一日午後四時元山着府尹官邸に入り午後九時乘船清津に向ふべし中桑原の兩長官は咸鏡驛迄出迎へたり(元山特電)

○[illegible]將軍通過

[illegible]

○兵器本廠長北行

[illegible]

○政務總監出發

[illegible]

○三菱製鐵支店

[illegible]

○酒造講習終了

[illegible]

□對米禁鐵交涉顛末(2)

遞信省發表

[illegible]

△約二十萬噸

[illegible]

△其附帶條件

[illegible]

△到底耐へず

[illegible]

△存立上必要

[illegible]

△統一的計畫

[illegible]

◎支那觀察感想

—是れ瞥す可き現象—

日支經濟同盟[illegible]東拓會社總裁 石塚英藏氏談

[illegible]

△遂總統も決心

[illegible]

△一時の間に合せ

[illegible]

△天津の水害は

[illegible]

△愉快な事には

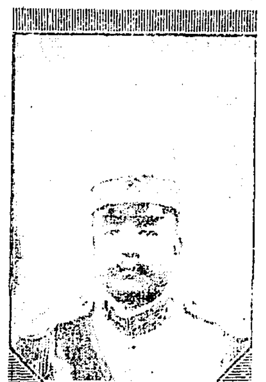
[illegible]

△發展付繼擴大

[illegible]

□問題の長江三督軍(下)

江蘇督軍李純氏(上) 湖北督軍王占元氏(中) 江西督軍陳光遠氏(下)



◎京管一行出發

[illegible](十九日發夫にて)

◎高橋武官歸任

[illegible]

◎入江氏退京

[illegible]

◎野口軍醫監出發

[illegible]

◎鳥居通譯官出張

[illegible]

◎藤波通譯官嚴父訃

[illegible]

◎有吉總領事動靜

[illegible]

人事消息

[illegible]

彼れ此れ

○相變らず北將軍曰く、支那は鏡の樣な國サ、誰でも手を出した者の大なり小なり、此鏡をクッ付ける、サ、夫れ故多少にても、支那を知るものは、出來る丈け、控へ目にするのは當り前サ。露國も隨分紛糾して居る樣子だが、彼の國民性として、多數の國民に國家觀念が乏しいから、眞に秩序の回復の出來るのは、將來五七年では[illegible]

○ロダン翁は逝去せり、世界彫刻界の名星墜つ。名將の戰死は、屍を馬革に包むの悲あるも、之に伴ふ名譽あり、必ずしも冥し難きに非ず。藝術家が、天才を齎し去るは宇宙の寶物を亡失するもの、悲に餘りあり。佛國の藝術が、世界の新を唱ふる所以、天才の閃きにあり。秋風悲調を帶ぶる、何ぞ急なる。

○露國の騷亂は、愈々出でゝ愈々分明也。ケレンスキー氏は、過激派を壓倒するの、心算に非ずして、之を懷柔せんとし、單獨講和をも、敢て辭せざるが如く、微的也。企圖果して此に在りとせば、士氣の不振は、過激派の跋扈に、敵する能はざるや、知る可し。ケ氏の敗報を傳ふる「倫敦」としても半ば信ずるを得ざる也

▲朝鮮總督府制服▼(判任官用)

▲特ノ一(サーヂドスキン)金四拾五圓也
▲特ノ二(ドスキン)金四拾貳圓也
▲甲(メルトン黑紺)(一本線)金參拾參圓也
▲乙(メルトン黑紺)金貳拾八圓也
▲奏任官制服及外套は貳圓增の事
▲「將校マント」は貳拾圓より四拾圓迄
▲送料 地方は御申越次第見本帖と寸法取圖解送付可申上候 郵內二十錢外五十錢

京城大平通一丁目 電話京城三〇〇番 京城日報代理部

タカヂアスターゼ

タカヂアスターゼは高峰博士發見の方式に據り本會社工場に於て製出せるものにして胃腸疾患に對する唯一の特効劑なり

外國に在りては同一の方式に依り有名なるパークデビス社か北米及英國所在の工場に於て製造し歐米各地に之を供給せり

タカヂアスターゼは已に十數ヶ年來世界各國の醫學者に依り實驗的に使用せられ其效力を確認せられたるものなり醫藥としての最大要素は多數醫學者の實驗成績が効用の論理と合致し使用者をして何等の顧念を挿むの要なからしむる者なるに在り

東京室町 三共株式會社

期米賣同盟會員募集

第二回收穫豫想發表の激減を動機として當限廿五圓台中先廿四圓台に躍進せし期米は一面正米高に牽引されたりと云ひ堂島開闢以來の珍高値なり本會は永年の實驗と絕對的必勝の自信を以て此絕好機に向つて賣同盟會員を募集す希望の方は二錢郵券封入申込みあれ會則急送す

加盟金一口五十圓(但一人にて數口加入差支なし)

申込期日 來る十一月二十五日限り

明治廿三年創業 大阪市東區北濱二丁目株式取引所南隣 相場觀測會期米部 電話本局長七六七番・三五二八番 振替口座大阪一九六九八番

岡本齒科醫院

「小學兒童齒牙健康診斷無料(每日五名限り)」
京城本町一丁目
「夜間診療も丼に多忙家之爲(每日十時迄)」

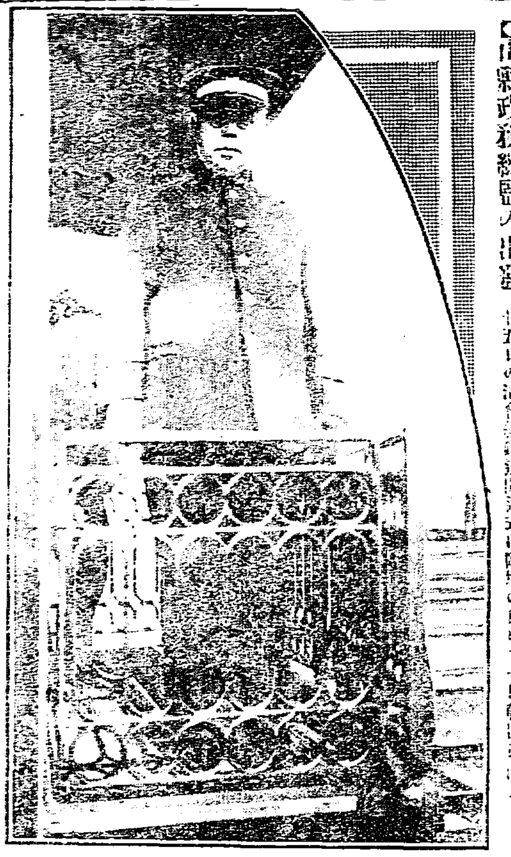
株式會社第一銀行支店

資本金 二二、七〇〇、〇〇〇圓
積立金 一一、二〇〇、〇〇〇圓
諸預金 一八八、〇〇〇、〇〇〇圓

支配人 西村道彥

京城府本町二丁目(振替貯金京城一一一番)

時間表 十一月一日現行 [illegible]



◎山縣政務總監の出發 廿五日の清會線鐵道開通式に臨場の爲め廿一日朝出發(南大門驛にて)

大演習を陪觀して

思ひんな事を新らしく感じた 總督附武官 高橋陸軍步兵少將談

近く江州に於て擧行されたる陸軍大演習を陪觀して歸つた總督附武官高橋少將の談に曰く

長谷川總督は一度東京に行かれ、夫れから演習地に赴き、再び東上されたが、何時歸任されるか、予は確たることは知らない、今回予は單獨にて

自由に演習 を陪觀するを得たが、偖て大演習に就て何か話をせよと云はれては、少々困る、演習の狀況は、新聞通信等に詳述された通りと云ふ外はない、之を一言に盡せば、例年の通りで、而して進步の

迹著しき を認めた、と云へば可いだらう、飛行機の如きも、當初役に立たぬかの様に取沙汰されたさうだが、實は試驗的に用ゐた機關に故障を生じたに過ぎない、飛行將校の技術だの、勇氣だのを疑ふの餘地はあるまい、其證據には、演習中

飛行將校が 殊勳を奏し陛下の御前に召されて拜謁を仰付けられ、非常の光榮を荷つたので分る、飛行機以外には別に新らしき軍器も無かつた、まさかタンクや、四三糎の準備もないからね、又特に歐洲戰に鑑みて

方略を立て られた際にも思へなかつた、無論參考に資せられたことではあらうが、現今の歐洲戰は、主として陣地戰であつて、今回の演習の如き遭遇戰とは異ふのだから、彼れに模して此に寫すと云ふ譯にも行かなかつたのだらう

此の演習中 予の新らしく感じた點は、統監部の策定が從來の如く綿密でなかつた、或點迄は指揮官の自由意思を以て行動せしめられたので、鐵道輸送を演せしめられたので、[illegible]に應へられたことである、例年は

軍の行動は [illegible]に統監部から通達されて、或一定の時間に行動を起すことゝされたものだが、今年は、其前夜から行動を起すことを許されたので、指揮官は自己の意思を以て、兵を行ることの範圍を大に擴められた、工兵が[illegible]を破壞して

殊功を樹て たのも、[illegible]時間に餘裕が有つたからだ、鐵道輸送も、未だ曾て演習に加へられたことは無かつた、之れも、當局者を益する點が少なくなかつたであらう、先づ[illegible]ものかナ、總監演習といふものは、聞て居れば面白いかも知れぬが

專門家以外 には意義ある面白味は無いものだ、或寫眞師は、兩軍が對峙して居る際、其對峙火を交ゆる狀況を撮影すべく、ピントを定めて長時間待つたが一向火蓋を切らない、之れはダメと思つて、他の銃聲の聞ゆる方へ驅け付けると

其方の銃戰 が踏と止むで、今後にして來た方に銃聲が起

朝鮮海峽横斷飛行

帝國飛行協會の壯擧

帝國飛行協會にては明年春朝鮮海峽横斷の計畫を建て改造モ式三號五號の兩機にて練習修業生佐藤要三後藤正雄の兩氏操縦し下關より釜山へ往復す可し此の行程二百六十哩航續時間四時間なり(東京電話)

◎虎狩隊の動靜

[illegible]一行は十九日[illegible]

◎萬代丸乘組員等還る

[illegible]

◎日本刀二人を斬る

[illegible]る重態なりと

◎明年徵兵檢査

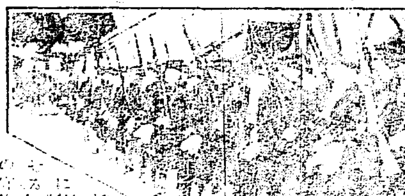
朝鮮に於ける大正七年度徵兵檢査は大正七年四月一日より同年七月十日迄の間に於て呼出令狀記載の日に施行せらる、各身體檢査を受けむとするものは預め本籍地に抄本を添附し大正七年二月十日迄に檢査施行軍隊宛提出すべしと而して受檢の際は自己寫眞を携帶すべく檢査施行軍隊は左の如し▲龍山(步兵第七十八聯隊)▲大田(步兵第八十聯隊第三大隊)▲大邱(步兵第八十聯隊)▲釜山(步兵第八十聯隊在大邱)▲平壤(步兵第七十七聯隊)▲義州(步兵第七十七聯隊第一大隊)▲元山(步兵第七十四聯隊第一大隊)▲咸興(步兵第七十四聯隊)▲羅南(步兵第七十三聯隊)內に願書の様式其他詳細は十一月六日以降の官報若しくは府廳內務係に就き承合せらるゝを便宜とす

◎伊勢竣工近し

建造中の戰艦伊勢は竣工に近づき目下[illegible](東京電話)

◎元山歌舞伎座燒失す

二十日午前一時[illegible]



◎放蕩から懲役

東京市芝區愛宕下町一丁目生れ京城南山町居住富田朝夫(三)は放蕩の果て實家より勘當されし身なるが本年六月頃より八月末迄旭町一丁目料理屋千成に於て數十回遊興し百餘圓の遊興費嵩み嚴重なる催促を受くるも無一文なるより朝夫は岐阜縣不破郡岩手村生れ京城太平通二丁目居住園井五郎(三〇)と相談の末九月中催認を以て千成の主婦お同び寄せ五郎は朝夫の實兄と詐稱し實は昨日東京より來り初め[illegible]

◎海兵の陸上生活

▽―海防艦某記者の寄稿―三―

煙草の時間」暖風に吹かれて掃除」海上へ作業」に賑ふ遊戯室の夕べ

朝は六時に起床する、この頃の六時といへば、まだ眞ツ暗である、洗面、服裝をすつかり整へてしまうと十分ばかりの煙草の時間が與へられる、スチームが暖かく通ふ部屋の中で、各自思ひ〳〵の[illegible]

▽船上の 任務は、掃除、[illegible]整頓等が重なるもので、[illegible]を戰ひながら、午後の三時半頃までだが、その時の都合で四時五時六時頃までも海上に居ることもある、普通四時頃に三時四十五分が夕食にかゝり、これが四十五分に濟んで終ふと上陸番と言つて外出を許された者を除く外の一同に對して軍艦檢防火隊の訓練があつて、それから柔道、擊劍、體操等があつて七時の

▽消燈迄 約一時間餘り自[illegible]

▽樂しい [illegible]にこの僅かな時間が與へられる、前に記した遊戯室の賑ふのは實にこの時で、本を讀む者、いづれも一日の[illegible]、蓄音機をかける者、[illegible]に對する[illegible]として當然自分の[illegible]べき僅少の時間をいかに有効に使はうかといふ風に[illegible]、外出を許される者はこの中でも成績のいゝ者で善行章を持つて居る者は隔日、一般の者は行狀の者は八分の一[illegible]

▽一箇月 [illegible]

▽各自の [illegible]

讀者文藝(一句に付半錢)

◎晉と鉤(一等) 京城大和町三五 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]議を擧行として老人袂の會合を開き一同を招待したのは其趣旨に意義あるものであつた▲其趣旨に曰く「吾々病弱人が今日安らかに暮して往のは上 天皇陛下の御稜威に依ることは申すまでもないが▲直接人民に接觸せる警務官憲の指導庇護による處一般有志は其の機會に親しく面接して謝辭を述べ且つは指導を仰ぐべきであるが恰かも秋穫期に際して皆其業務に沒頭し機會を失するの憂なきにしもあらず老人の吾々が代つて御接待申上げたのである」と

朝鮮側には老人袂といふ團體が各處にあるが京城老人袂は十八人の古老に依つて[illegible]

◎停電

二十一日午前六時十分京城電氣會社用發電機に故障を生じ爲めに約二時間電車の停電を見るに至り午前八時開通したり

□讀者文藝課題及び募集規定 [illegible]

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事 ▲賞品は一週間後 ▲種類の[illegible]

商況

債券現物特電

[illegible]

公債直取引

[illegible]

深川正米特電

[illegible]

東京期米特電

二十一日前場 寄付二三、九〇 高値二四、〇八 安値二三、九〇 引け二四、〇五

大阪株式

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

實況

◎冬帽子下落 約一割五分方下落 鳥打帽は三割內外下落 [illegible] 多少反動 五割內外騰貴 [illegible]

◎一段の消費減 [illegible]

◎綿は內地不變 十三圓六十錢 今一段の下落を見ん [illegible]

◎綿糸布漸騰 商況稍々昂氣 更に約三圓方昂騰し細布三錢も九圓八十五錢 [illegible]

◎皮革稍氣直る 在品は稍々潤澤の方 米國象皮 早晚象皮十圓安 [illegible]

各地商況

[illegible]

市場雜觀

人氣は更に安唱へ見送りの商狀 崎一低を繰返す 存外、某落を演ず [illegible]

釜山穀物(二十日)

[illegible]

下關相場

[illegible]

仁川期米

▲二十一日前場(保合) 三錢ミ五錢安に寄 先十九圓九十三錢 [illegible] 大阪天候晴天西風多く二百三十斤建五圓八十九錢 [illegible]

東京二十三圓九十一錢兵庫五十一 [illegible]

東京四圓〇六錢兵庫五十八錢 [illegible]

三錢ミ保合の裡に下漲 [illegible]

▲二十一日後場 大阪後場寄入電にて先限二十日繪十錢と四錢高に寄付たるも買物多く[illegible]

仁川米豆取引所

廿一日の一月限

[illegible]

仲買店 仁川米豆取引所仲買人 [illegible] 電話 [illegible]

仲買店 仁川本町三丁目 仁川米豆取引所仲買人 電話 長九〇五番 八三二番

仁川 [illegible] 店

天氣 くもり 雲時々小雪 [illegible]

蒙古まで 四鄭線見物 (三)

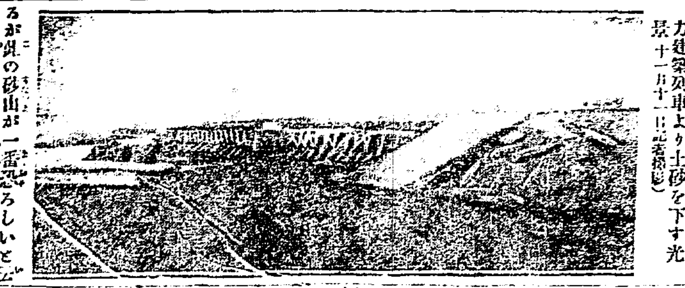
◇奉天にて……巴布扎布生◇

◇馬賊と戰ふ日本人の魚行商人◇
◇凍結せる遼河の流 何等の壯觀◇

四平街を出てから二時間、汽車は人の術屋が點々と見ゆる、汽今廿七里ばかりの地點を走つて居る、車にこれから下り迄を走つた、ろ／＼馬賊村の附に差しかゝる、不毛の樹間からは地跡がだん／＼である、唯見れば今迄見た平担な河と流の平野に傾むいて行き、畑は眼に入らず唯だ狐色の雜草が樹の疎林と狐色の平野だから、それに

◇興安嶺の風◇

に接いで其處此處大洋の波濤の如き砂山のうねりが涯もはるかに續いて居る、處々は白樺の林が見ゆるである、蒙古らしい不毛の原野で、車掌さんは大に馬賊ばなしを語つて呉れた、昨今此の街道を三江口鄭家屯に魚の行商する日本人がお



四鄭線三江口附近にて支那苦力建築列車より土砂を下す光景(十一月十一日記者撮影)

◇放牧の馬の群◇

が近んであるかと思へば馬群で、朝鮮のカチカラスがガア／＼と飛び廻る、いつか入田博士のはなしではカチカラスは露西亞のフイランドからスエーデン境のトルネオ附近にも居るといふさうだが、今朝北向きの鳥らしい、午前九時五十分愈々三江口驛に著いた、四平街を出てから正に二時間、驛の建物は赤煉瓦で內部はまだ作中、附近には汽車を珍しがつて

◇群集した支那人◇

がワイ／＼騷いで居る、汽車の三等室からドヤ／＼と降りた支那人は何れも馬車に乘つたり、徒歩する者もある、物を背負つたまゝ、何れも此處から十三哩程の鄭家屯に行く人々で中にはかみさんやお婆さんもある、建築列車は直ぐ四平街に引き返すといふ、午後も亦一列車あるとのことだが、われ／＼も早速引き返すことにする、案內役の

◇岩谷東亞煙草◇

支店長は非常に時間の無いのを殘念がられた、遙かに向ふには消し初冬の日をうけて鉛色に鈍る遼河の氷が見ゆる、而して四方は唯だ圓い輪をかく地平線ばかり、蕭條たる蒙古の風は枯草の上に吹き

わたつて白雲が遠く地平線の上に飛んでゐる、そも何等の雄觀である。

◎大連市と埋築

急激なる發展と市街地

近來大連市の急激なる發展に伴ひ市街地の不足を感ずること著しく民間に貸下ぐべき地區の拡張は今や大連市の重要なる一問題となれり、市街地の膨脹發展を見越す……は現在市街地の二倍に近かき區域

▲根本的計畫

を樹つる必要あり

▲一般に貸下

せしむべき方針にて目下北公園……

▲埋築の必要

は一般に之れを認め其の着手の速かならん事を希望し居れる……大山通岸壁より小崗子に至る一帶に埋築地は……

安らかな極東へ

露西亞人

口腔の消化作用に就て (一)

東京齒科醫學士 飯塚喜四郎氏口演

仁川山手町飯塚齒科醫院主は過日仁川病院に於て左の口演をなし上に謂ゆる醫師會席上に於て左の口演をなし……

慢性の胃腸疾患及び消化障碍を訴ふる多くの患者中には其の原因が齒牙の疾患或ひは齒牙の缺如等の爲め咀嚼作用完全に行はれざるに由るもの決して少くない、口腔は即ち消化機關の門戶にして、食物の消化には最も重要なる關係を有するものである

▲口腔の消化▼ 口腔の器械的消化作用、的消化作用及び化學的消化作用の二つに別つ事が出來る、器械的消化作用は食物を攝取して之を咬碎し唾液を混合せしめて糜粥狀となし以て口腔に於ける化學的消化作用及び胃腸に於ける器械的並に化學的消化作用を全からしむるものにして實に食物消化の基礎をなすものである、其の器關は主として齒牙にあつて舌、頰及び口唇等は之が補助器關をなすのである故に口腔に於ける

▲器械的消化▼ 作用を完全に行はしめんが爲めには先づ齒牙が健全にして充分なる咀嚼作用を行ひ得る事を要し同時に補助器關たる舌、頰、口唇等の健康なるを要するは言を俟たぬ

口腔の化學的消化作用は專ら唾液に由つて行はるゝものにして又唾液は多くは弱アルカリ性にして又中性稀に酸性のものがある、其の成分は凡そ九九%の水分と一%の固形成分とより成り固形成分は有機及び無機質を含有して居る、而して

▲有機質中▼ には一、プチアリン、二、マルターゼ三、蛋白質四、ムチン等を含有し無機質中には一クロール鹽類二、燐酸鹽類三、炭酸カルシウム等を含有して居る、尙唾液中には少量の剝離せる上皮及腺細胞其他遊出せるロイコチーンを混じ又瓦斯體殊に炭酸瓦斯を含有して居る、唾液の化學的消化作用は主として酵素に由る合水炭素の糖化作用にして又ザリケンを分解してザリチゲン及び葡萄糖とし蒸溜液を分解して硫化水素を發生せしむる

▲唾液の糖化▼ 作用は先づ澱粉に之をプチアリン(唾液素)が作用して之を可溶性澱粉とし次に可溶性澱粉は唾液素に依て加水分解を行ひ「アミロデキストリン」となり「アミロデキストリン」は更に「エリトロデキストリン」と「アクロデキストリン」とに分解し「エリトロデキストリン」は「アクロデキストリン」と麥芽糖に分解し又「アクロデキストリン」は麥芽糖に移行するのである、即ち澱粉はプチアリンの作用に依つて悉く麥芽糖に糖化するのである、而して茲に化生する麥芽糖の一部はマルターゼの作用を受て葡萄糖に變ずるのである(未完)

◎滿洲の果物

將來は極めて有望

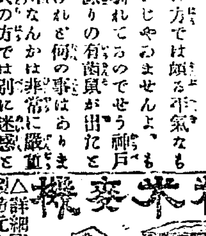
果實の收量は毎年著々大したるものであるが其の多くは內地産が輸入せられて滿洲土産のものは比較的ない様に思はれる、尤も梨は山東省及び山海關方面から仕向けられきた露國方面の果物もないではないが未だ內地産に比べると品質に於て一歩を讓るやうである、然るに實業家……

◎航海業者の觀

たる仁川の築港

……

精米麥機



化粧品石鹸

問屋ハコ、

伊勢勘號

大阪東區南久寶寺町三丁目 電話南長四一六 振替大阪二八二五番

本品は畏くも宮內省御買上の光榮を有し

東京で一番よく賣れる美人となる化粧料はホーカー液

壹萬圓富籤

塩崎商會

神戶市加納町四丁目三番地

バザー

本月廿三日前九時より後四時迄傳道及慈善の目的を以て當バザー開催仕候に付御來館相仰度候

聖保羅婦人會

進呈

資本を要せず副業として最も有利なる本機に就ての詳細說明書進呈す

進呈

特許商標の理論及び出願要件を說明せる冊子「特許の栞」を郵券二錢送れば進呈す

東京日本橋區上槇町 石特許法律事務所

恩給年金立替代理店

日鮮會話精通

朝鮮總督府高等法院通譯官 西村眞太郞著 本月廿五日發行

袖珍總クロース美本 七百餘頁 定價金壹圓參拾錢

一、本書は凡そ社會全般の事物を網羅し盡して收めたれば之一つの國鮮語の辭書として見る事を得べし

一、本書は內鮮人を問はず通譯事務に最適當の事項を集めたり

一、本書は各學校の會話教材に最適當の參考書たり

一、一般に內鮮俚諺數百を解し得たりとするも其の智識のみにては甚だ覺束なきものならずや本書は貴重なる新譯を以て一層確實に鮮語を今一層充實せり茲に朝鮮語を以て速に本書を購求せらるべし

發行所 京城大平通一丁目 京城日報社代理部

特約店 京城本町二丁目 大阪屋號

本日より同三十日間 書籍賣出し

京城本町二丁目 嚴松堂書店 交換所 電一一六六番

運だめし

來月壹日 いよ／＼初回大抽籤

新券 割增 六千圓 當籤

次回新券六十七回十二月一日より賣出

勸業債券

◎第六十七回 勸業債券(四分利)

◎初回くじびきは明年一月

◎來る十二月一日より十五日まで

◎日本勸業銀行及各地代理店、取扱店に郵便局にて

新債券

二千圓のくじ 六十七回 廿一本外澤山

▲即賣 ▲月賦賣 ▲御申込は

勸業債券月報社 福岡支店

左甚五郎

第九十一席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

觀世太夫は源吉清左衛門に酒肴を馳走して自分も共に盃を擧げて居りましたが清左衛門に對ひ　觀『其の源五郎の妻源吉の母は如何いたしたか、　清『へヽ、それはもう半分ブラ下つて居ります　觀『其方の申すことは少しも判らぬ、何じや其のブラ下つて居ると云ふは　清『へヽ今日持つて參りました此の面が繕まりませんければブラ下ると云つて支度をして居ります樣な譯で、　觀『それは危い直に是から駕を遣つて迎ひに行つて來てくれろ　と是から家主清左衛門大きに喜んで直に駕を飛ばして四谷鹽町へ驅つて來て持亂に右の次第を話す

が源吉へ彫刻の秘傳を授け仕込んでくれたからでございます、乃で此由を源吉から源五郎へ委細話しをいたしますと［illegible］

と、おかつの言ひ付け又別に［illegible］清左衛門に伴はれて改めて觀世太夫の處へ參りましたが、是れは觀世には初めての對面と見ねまして、五郎が生前に種々世話になりました禮を述べ、又た倅の身の上を頼みまする、軈て觀世は一包みの金子を取出し、一包みといふから自雨でございませう　觀『是は面の代では無い、洵に些かではあるけれども源五郎へ香華でも手向けて貰ひたい、それに就て四谷鹽町に居つても大事ないが、幸ひ拙者の地面内に空て居るから此方へ引移つて親父の名前を挙も輝す樣にいたしたら宜しからう』といふ觀世太夫の厚意、源吉も大に喜んで何分宜しくお願ひ申しますといふ挨拶、處へ四谷鹽町の太田の隱居も參りまして右の話しを承はり、以々奇異の思ひをいたしまする、宜に何うも此の源吉を二代目源五郎といたしたは觀世太夫の働き、又當人が父の遺志を繼ぎまして右の面を彫り上げたのは名譽のものでございまする、是れ［illegible］

［illegible］でございます、［illegible］面だそうで、源五郎［illegible］たしましたと［illegible］日の間といふ［illegible］て丹精をこめて［illegible］神秘の面、是亦非常に能く出來ました、觀世太夫の喜び一方ならず此の［illegible］の面と並び［illegible］の二面は我が家の寶なりとあつて大切に秘藏いたしたといふことでございます、面の中で肉付きの面と申しまして世に二つの面は觀世の家にでも別にいたしたといふ位ゐの一心と云ふは恐しいもので精神一到何事か成らざらん、父の遺志を繼いで天下に名前を揚げました左甚五郎、猶て甚五郎は佛作つて眼を入れずでは叶んから何處さ［illegible］衛門の緣家にねみつといふ今年

七歳になる娘がございまして此女を源五郎の妻といたしました、夫婦仲も睦じくして程なく一男一女を設けました、源五郎は此の恩儀に感じ甚五郎を親と思ひ孝敬いたして居りまする、茲に又甚五郎が名を擧げたといふは、下谷廣徳寺の普請でございますが、同を追て申上げます

牛乳　御用　京城東四軒町　岡野牧場　電話一〇六九番

京城太平通二丁目　寶　本多寶店　販賣局々高價御用

外科一般　皮膚科　泌尿器科　花柳病科　京城本町二丁目　…部醫院

演藝案內

黄金館　電話二六三七・二三六六

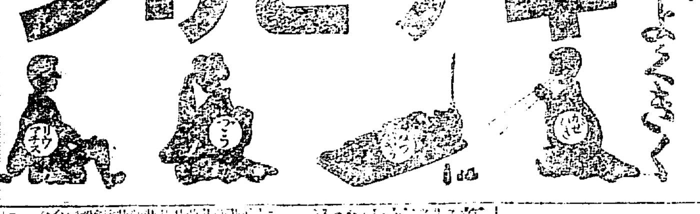
大正館　電話八七三番

有樂館

浪花館　明治町二丁目　電話二六〇番

壽館　京城本町　電話一〇五〇番

[illegible]

かぜねつに　一番よくきく　キナピリン

キナピリンは感冒・熱病・頭痛・インフルエンザ・リウマチス・間歇熱（マラリヤ）等に大効あり
（定價）
大阪市堂島元與橋　本舖　高橋盛大堂藥局
東京市神田區柳町　發賣　高橋盛大堂出張所

ゴルフ　健胃消化錠
タカヂアスターゼを主剤とせる胃腸の新製劑なり
發賣元　東京　三共株式會社

新荷著

懐中時計　置時計
京城本町二丁目　イングレッシー商會　電話九七二番

中央婦人病院　京城旭町二丁目（元第一收容所下村通）電話二三四〇番　院長　衣［illegible］

注射液　ワクシン
軟性下疳菌ワクシン（下疳横痃用）
アクネ菌葡萄狀球菌混合ワクシン
肺炎球菌ワクシン（肺炎治療用）
インフルエンザ菌ワクシン
百日咳菌、肺炎球菌混合ワクシン
感冒用［illegible］ワクシン
淋菌ワクシン
結核菌ワクシン
［illegible］混合ワクシン
其他合計二十餘種英國ライト博士の下に研究せし阪上ドクトル擔任製出
東京日本橋　星製藥株式會社細菌部

眼科専門　金井眼科醫院　京城若草町（新道路中程）電一五五六
新築落成　入院隨意　日曜祭日午前中

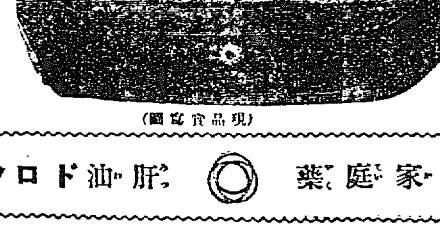
ミツワ石鹸
MITSUWA SOAP.

The pure soap, from chemical point of view, should dissolve transparently in Alcohol with no sediment at all. Not only MITSUWA SOAP fulfils that requirement but it possesses a delicate and refreshing smell. It is absolutely free from all traces of impurities and contains no "free" Alkali. It makes a soft, creamy lather, which cleans the skin thoroughly, and wears to a last wafer. MITSUWA SOAP gives comfort and satisfaction every moment of its use for toilet, bath, or nursery.

凡そ石鹸は、工業用、洗滌用、洗濯用、浴槽用化粧用等各用途に從つて其種類を異にすこ雖も、而かも皆等しく、遊離の亞爾加里なく遊離の脂肪なく、些の混合物なき化學上の純石鹸たらざるべからざるは、素より當然のことなりとす
皮脂の分秘量多くして而かも粗慥なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髪の洗滌に用ふべき化粧用石鹸は、啻に化學上の純石鹸たるの故のみを以て、其適否を論ず可らず

○ミツワ石鹸は
化學上の純石鹸たるのみならず、なほ左の性狀を具備す。
一、原料を精選し、脂肪に、香料に苟も刺戟を感ずべき虞れあるものを用ひず。
一、温雅の芳香を有す。
二、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂なし
故に、一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に叶ひ經濟に合する、理想的實用品なり。

種		類
大形	家庭用	定價金貳拾錢
中形	携帶用	定價金拾貳錢
小形	旅行用	定價金拾錢
極小形	旅館用	定價金五錢


（現品實寫圖）

ミツワ家庭藥　◎　肝油ドロップス

東京市日本橋區橘町四丁目　振替東京一七〇一番　丸見屋商店　電話特長浪花四四〇三番・四四九〇番・四四五〇番

桃谷研究試驗所製　佛蘭西式純白
美顔洗粉
◇御内意に依り謹製したる品

大正四年五月上旬、或る尊貴の御係から、佛蘭西製の或る洗粉とクリームとの見本を添へられ、これに劣らぬ優秀なる品質の二品を桃谷研究試驗所に於て調製奉進せよとの難有き御内意が傳へられました。當試驗所にては此上なき光榮に感激し、技師一同飽くまで深重に綿密に研究を積み、同七月下旬を以て御製品を上納致しました處、二品とも品質の極めて優秀なる事を認めさせられ、爾來常に御用を拜して居りました其二品の中の洗粉を先頃來廣く世に發賣する事にしましたのが此美顔洗粉であります。斯ういふ品ですから、一度美顔洗粉を御用ひになりました方は、必ず其品質効用に御滿足遊ばされ、引續き愛用せられる有樣であります。貴族上流方御家庭からの直接御注文も近來非常に多くなりました。

美顔洗粉定價小袋八錢中袋十六錢大袋二十四錢　發賣元桃谷順天館　全國化粧品小間物店にあり

桃谷研究試驗所の外觀

汽車　京釜線（南行）（北行）　湖南線（南行）（北行）　京義線（北行）（南行）　京仁線（仁川行）　京元線（北行）（南行）　[illegible]

京城日報
十二日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

支那漫遊

蘇峯生

八達嶺

予等は青龍橋にて下車し、直ちに線路を傳うて八達嶺に向ふ。鐵道開通と與に、張家口より北京に至る、此の大往還も、殆ど荒廢せり。

八達嶺頭に至れば、十二年前の[illegible]槐、影濃なる樹は、今や其痕跡なし。而して其の長城の破壞や、一層目覺ましき狀あり。予等は長城の上に立ちて、此より行く可き北方を望めば、駱駝の隊商は、駱駝の頸に掛けたる鈴を鳴らしつゝ、悠々と北門鎖鑰と大書せる關門に入り來らんとす。鐵道開通以來、駱駝隊商の往來は、從來に比して、殆んど十分の一に減じたりと云ふも、尚ほ此の如し。以前の光景想ふ可き也。

張家口

張家口は、蒙古に對する咽喉にして、所謂る陸路開市場也。以前は、露商此處に來りて、貿易に從事せり。今や米國の蒙古貿易に着眼する者、亦た此地より[illegible]に、自動車交通を開かんとす。八達嶺より此處迄の內關は、外關と云ひ、此地は漢代に於ては代郡北部たり、後漢に於ては、烏桓鮮卑校尉の治所たり。

流に大雨あれば[illegible]

予等は十一時二十七分の急行車を待ち合せ、青龍橋より乘車せり。意外にも、北京より予等の爲めに、支那人の公用車—吾人の特別車—一輛に案內者一名、給仕兼料理番一名を附し來りたるは、予等の此行に、多大の便宜を與へられたるものとして、交通部總長曹汝霖氏始め、其筋の官憲に感謝せざる可らざる也。本文を艸するを得たるも、畢竟此の便宜による。

青龍橋より張家口

予等は已に、八達嶺の麓に立てたり。今や汽車は八達嶺山腹を穿ちつゝあり。隧路長三千五百八十尺、洞を出づれば、一望渺茫、此れより汽車は大平原を行く。回看すれば、峻峰は頽波の如く、重疊として東西に亙り、而して長城は其上を蜿蜒し、隱見指點す可し。予等は新保安にて午餐す。此處は涿鹿縣に屬し、今は葡萄[illegible]等の名產地也。此れより汽車は雞鳴山を望んで行く。山形平野に孤起し、四壁危崖、緇を立てたるが如し。其上に寺觀あり。隨處石炭を掘りつゝあり。此の附近の平原が、即ち涿鹿の野にて、黃帝が蚩尤と戰ひし所也。此よりして宣化府を經て、張家口に達す。汽車は洋河に副うて行く。河は桑乾河の上流也、水流多く且つ濁る。

[illegible]迎ふ。氏は已に吉林の督軍に[illegible]し、不日退任す可しと云ふ。氏は一切儉素にして、恰も關羽に似て[illegible]たり。此れより市街を見物して、大境門を出づ。門外は即ち蒙古也。市街には毛皮商最も多し。而して蒙古人が絡色の寬衣を著け、馬に騎りて市中を往來する樣は、人をして[illegible]しくは騎驢に[illegible]想せしむ。馬に跨して關を出づるもの、概ね磚茶也。之を製し、蒙古に鬻ぐもの也。

予等は人力車にて[illegible]推を附けて行けり。されど泥深き三尺、隨處陷落し、車は[illegible]人は「波上の舟よりも」動搖せり。此道は、幾千萬頭の駱駝、馬、驢等が、幾百年間、踏み荒したる其儀のものならむ。街上の人は、人力車を見て、頗る珍らしがれり。張家口、人口平生七萬、冬期十萬と云ふ。而して人力車僅かに四輛也。其の勝景の目標となるも、當然也。されど大境門外の、長城の殘壁の大境壁に、英米煙草トラストの大廣告を塗繪したるが如きは、奇とや云はむ、怪さや云はむ。夜は三井洋行にて、晚餐の饗應に預り、汽車中に歸りて安眠せり。最早發車の期近きたれば、此にて筆を拋つ。張家口に於ける短時間の見物は、一に三井洋行の宮崎嘉市君等に負ふ所多し。

大正六年十月廿四日午前七時 張家口驛特別車の一室に於て

靖洲將軍陣中話

一記者

北韓國境の師團演習で散々苦勞した朝鮮第十九師團長高柳中將の[illegible]▲イヤ彼處の師團程訓練の[illegible]い師團は有るまい[illegible]されるので彼處から五人此處から十人で北鮮に遠もあればまた鹿兒島も居る兩方出逢つて話をしても言葉は判らず意味は通ぜず大れに大阪の敏捷なのもあれば熊本の武骨一天張りも少くない是れを混交融和して親師團の風紀を維成する基礎を作るのだから[illegible]骨折も一通りではない[illegible]愉快もある[illegible]

[illegible]師團の氣風を作らしめつゝある只我々が此師團の[illegible]一切の責任は總て師團長に一任してある▲只一つ言ふ[illegible]師團の基礎だとの思想に[illegible]訓練の呼吸を吞込は[illegible]廣言ではないが俺は自我を捨て一切朝鮮二師團を本位として居る▲此頃朝鮮の成績を期して[illegible]内地の山本某が虎狩をするが虎の如何は暫く措いて面白い鮮で獲物の如何は[illegible]かに贊意を表して居る成金が內地で種々低級な道樂に金を遣ふよりルーズベルト式の男性的企てと北鮮の寒風に吹かれる丈でも確かに効果はあるヨ朝鮮に來た虎が居るには居るが其數は非常に少いに此度は何んな狩り方をするか知らぬが一頭でも獲たら殊功だネ或は唯の三郎で歸つて來るかも知れない▲俺の人生哲學は天地の間に種々な物が有り色が有るやうに人間も亦各種の特質を持つて居る善人と言ひ惡人と言ふも或一點の相違を斷長した結果に過ぎない惡人必ずしも捨つ可らず

誰（十一）

布施生譯

[illegible]藏部に嫉入する爲には此の條件がついてゐるそうである。それには自分を片附けて仕舞ふのが一番手取早いわけになる。之では愈々以て危ないは何としたものだらう。千思萬考の後賴太郎はいつそ之から伯母の方に反忠を考へて藏部の惡策をかいてやらうと思ひ聞いた、それで伯母も藥嫉も助かれば自分も助かる、そうだ〱と手を拍つて賴太郎は伯母への手紙を保部老人が橫取りしたのであつた。

賴太郎の懐へ往くからは何れ無心でも聞かされるのかと半分は厭々で來て見た夫人は打て變つて賴太郎が優しく情のある事を言ふので驚きながら嬉しかつた、そして久々で晴々しい顏に崩れるやうな笑を湛へて自分がつい先達て賴太郎に買つてやつた肱懸椅子に腰懸けてゐるに賴太郎は跪いて猶も口上手に何かと母親を喜ばした、賴太郎の歲頃で且はあの父の兒である上から見ても彼が若の弄るまゝに朝から晚まで取留なく歡樂を追ふて步いてゐるのに不思議はない。其賴太郎が今言つて居るのはどんな事だらう、正に之れ彼が平生の善心に立歸つたら蛇度其日から出るであらうと豫期してゐた優しい言葉であつた『母樣〱永々御心配をかけましたね』でも樣に御心配をかけた其言葉に邪魔が這入つた、入口の戶ががたんと開いて悸乎とした賴太郎が振廻ると知銃を手にした保部老人が怖い眼をしながら其處に立つた。老人の顏は蒼白になつて居た、[illegible]は飛懸つて理非を言はさず二人

[illegible]

○雜誌抄

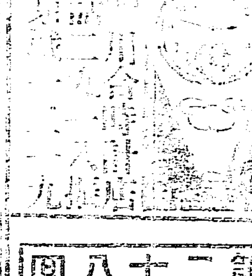
◇クマソ（教育界）

(一)クマは勇猛剽悍の意、ソはイサナの約まりたるもの（本居宣長）
(二)クマは勇猛の意、ソはソナの約まりたるものにて山狹重疊の意（八田知紀）
(三)クマは大隅國球磨郡、ソは大隅國贈唹郡（青柳高鞆）
(四)ソは襲にして『襲の國』クマは猛き[illegible]（近藤芳樹）
(五)クマは『高麗』ソは勇敢（萩原[illegible]）
(六)ソは『鐵』にして[illegible]の意（[illegible]）
(七)クマは高麗の轉訛ソは[illegible]（阿部[illegible]）
(八)クマは勇猛、ソはホルチオのソオ族（[illegible]）
(九)熊襲は南方渡來の人種にして日本民族とは異るものなり（三宅博士）

[illegible]新造船は米鐵輸入不可能なれば[illegible]其十四條の契約破棄當にて廿月以來窮況に陷り居たる海運界は管理令實施の結果[illegible]合に於ても[illegible]新造船[illegible]一方米國[illegible]遠洋[illegible]

[illegible]松混合林の計畫を立て將來が到る處[illegible]松混合林計畫は最も進步したる理[illegible]

[illegible]



婦人界 十二月號

萬人向の婦人雜誌 婦人界
○暮の巷
▲歲末の家事色々
婦人と趣味
儉約した結婚の費用
顏の手の豫防法
風邪から起る病
長篇小說 野菊……小波
新講談 義士傳……白馬台
の女……隱士
家庭日常相談
十二月號（定價拾七錢 郵稅壹錢五厘）
發行所 東京京橋鍛冶橋外 東京社

第二十八回 新學期開講
大日本國民中學會
安全第一の修學法あり安全第一の立身法あり須く本會に入會せよ
凡ての點に本邦第一の中學講義錄
大日本國民中學會

朝鮮鑛業指針
朝鮮總督長谷川好道閣下題字
元帥伯爵
貴族院議員伯爵松浦厚閣下題字
宮崎勇熊先生新著
唯一の指針
朝鮮鑛業界
鑛業は朝鮮產業の最大部を占むるものなりと雖も斯界の實情は未だ必ずしも闡明し盡されたるものにあらず、著者之を慨して茲に斯著あり、朝鮮に於ける地質と鑛床の分布(一)探鑛(五)重要鑛山の趨勢、鑛業界に必要なる理化學上の智識を說き更に朝鮮鑛業關係諸法令を網羅し且つ精密に附錄として鑛業地圖を添ふる等用意周到を極む、現在の朝鮮は勿論將來斯の方面に投資せんと欲する士は必らず座右に一本を備へられざるべからず
菊判紙數三百六十頁 上製定價金貳圓七拾錢 送料金拾八錢
發行所 朝鮮鑛業調査所
發賣所 京城本町二丁目 巖松堂京城店 電話一一六六番 振替二四五四番

日本少年 十二月號
勇敢なる斥候兵……堀内中將
千年前の決鬪……萩野博士
母と子……有本芳水
太平洋上に鯨を捕る……水產講習所池田文樹
吹雪の夜……額田六福
滑稽忍術の卷……次郎冠者
父なき子……豐泉一舟
姉を慕ひ……白石實三
法螺吹會……松山思水
（米國野球物語）（寫眞小說）（滑稽フキルム）（少年喜歌劇團）（西坊つうしん）
一冊 拾參錢 郵稅一錢 半年七十五錢 一年一圓五十錢

少女の友 十二月號
▲繪葉書の獨逸……植野正太郎
▲由來ある土地の名……吉田東伍
少女訓話 藤壺の女御と護國の神……下田歌子
口詩 生卵の教訓
お伽小說 犬の子から初まつた話……いみず
▲父乞ひ船 ▲茶山花の咲く頃 ▲海の怪火 ▲西藏に咲く花
少女喜劇 厄年の子
一冊 拾參錢 郵稅一錢
東京市京橋區南傳馬町 實業之日本社

本日より向ふ十日間圖書特賣仕候
京城本町二丁目 巖松堂書店交換所 電一、一六六番

◎聯立內閣成立

首相はツロツキー氏、直に講和を提議せん

ツアルスコエ、セロ無線電信局發電、露國に於て勞兵會、社會主義派の聯立內閣成立せり其の顏觸は總理大臣ツロツキー氏、陸軍大臣ムラブイエフ將軍其他にして既に夫々任命を見たり、聯立內閣は平和促進の爲め速かに休戰講和を提議し勞兵會の主義目的を貫行し土地問題共產制度を宣言すべし（哈爾賓特電）

◎コ將軍は無關係

ケレンスキー氏の秘書は露都よりストックホルムに到りて曰く過激派は露都に權力を確立せる勿論にしてコルニロフ將軍は今猶禁錮せられ居るを以て彙の騷擾に何等關係せざりし（ストックホルム特電）

◎食料輸送杜絕か

に達せる報道に據れば鐵道同盟委員は食料を出征軍に輸送する能はずと宣言し爲めに戰線の北軍南軍は陣地を引揚ぐるの已むなきに至らん（哈爾賓特電）

◎痛嘆すべき露國の現狀

＝非凡の英雄出でざる限り局面の收拾は困難ならん＝

長瀬鳳輔氏談

長瀬鳳輔氏の露國時局談に曰く紛亂に紛亂を重ねたる露國は遂に過激派の勝利に歸したる如し、ケレンスキー氏は已に多數の信用を失ひて失脚したるものなれば恐くは再起不可能なるべく次で其の內閣を組織するは前勞兵會長チヘイゼ氏か或はツロツキー氏の中なるべし、元來レーニン、ツロツキーの如きは何れも獨逸より密かに資金を受け講和運動をなしたるものなれば新內閣の成立は露國に對する獨逸の勢力が那邊にまで影響するやは逆睹するに難からざるべし、而して最近の陸海軍將官會議は國內の紛亂を理由とし戰線の兵全部を撤退するの已むを得ざる旨宣明せる由なるが之れ

▲當然の成行 なるべく露國の現狀は實に斯くの如くして洵に痛嘆に堪へざるものあり又た芬蘭、ウクライナ、高加索等は續々獨立の宣言をなし若くは爲さんとするもの、如く故に獨立の上は其々獨墺と單獨講和の擧に出づる莫きを保せず殊に加ふるに王朝派は前にロマノフ家の何人かを擁立して西伯利亞に一帝國を樹立すべく運動しつゝありとの事にて擧國

▲土崩瓦解し 恰も亂麻の如き狀態にあれば非凡の英雄出現せざる限り何人も此の局面を收拾することは困難なるべく又以て吾人の刮目監視する事大なるものあらん」と（東京特電）

◎王氏總理代理となる

段氏には休暇を與ふ

段祺瑞氏の辭職に對して馮總統は許可を與へず但し休暇を與へたり王士珍氏は總理代理を命ぜられたり（北京特電）

◎資本團政變影響

北京に於ける今回の政變に於て梁啓超氏等一派の進步黨系乃至財政部系の者は後繼內閣に割込むべき形勢あり之に反して交通系の者は段祺瑞氏と共に政權より離るに至るべく隨つて交通系の曹汝霖氏等と借款交涉中の資本團は多少の影響を蒙るに至るべしと（北京特電）

◎後繼內閣の顏觸

支那後繼內閣は王士珍氏を中心とし梁啓超氏も加はり唐紹儀氏を外交總長に岑春煊氏を交通總長に交涉中なり（北京特電）

◎湖南省獨立宣言

湖南省は獨立を宣言したり（長沙特電）

◎熊克武獨立宣言

熊克武氏の軍は十七日獨立を宣言せり（北京特電）

◎段一派天津引揚

段芝貴、徐樹錚氏等は段祺瑞氏と共に天津に引揚ぐる由（北京特電）

◎樞府會議

重要問題審議

二十一日樞密院會議定日に就き清浦議長以下各顧問官參集內閣よりは寺內首相、本野外相等列席し御諮詢の（一）東國との重要文書交換に關する件（二）北滿事件に於ける支那政府の賠償金網羅の件に關して審議し正午散會したり（東京電報）

◎海軍擴張費

要求總額二億六千萬圓

大正七年度豫算案中最も重大なるは海軍擴張案にして海軍當局が要求せる額は二億六千萬圓なり（東京電報）

◎近海航路補助

政府は近海航路補助費總額百三十一萬圓支出の件を來るべき第四十議會に提出するに決定せりと傳へらる（東京電報）

◎目賀田男會商

目賀田男は米國大藏卿と會商せり（東京電報）

◎影島丸問題落著

影島丸問題は松昌洋行より保險金の內十五萬磅を提供する事とし無事解決せり（東京電報）

◎總稅務司一行

支那總稅務司一行は豫定の通り安東著稅關長官舍に一泊し二十二日午前七時三十分發新幕へ向ふ筈（安東縣特電）

◎採木公司理事長

採木公司新任理事長は二十一日朝奉天發、鳳凰城下車馬將軍と會見し二十二日著任の筈なり（安東縣特電）

◎滿洲と東拓

意想外の要求

石塚東拓總裁談

月餘に渉る滿洲南北及び北京の視察を了し二十日夕刻歸來せる石塚總裁を京城線汝山驛の車中に迎ふ、長途の旅行に疲勞の態もなき總裁は何時もの如く笑顏さして記者を迎へて語る

▲今回の旅行は一箇月餘に亘り天、大連、旅順、長春、哈爾賓、吉林、北京の各地を巡歷し到る處官民にも面接し時事風物の視察にも努め鐵道も滿鐵全線の外京奉線、東清線をも試乘したり

▲滿洲支那側當路者の間には我が拓殖の眞意を解せず、朝鮮を併合したる筆法を滿洲に行ふ準備にてもあるかの如く猜疑する者なきにしも非ず是れ我社としては迷惑至極の事なれども直ちに之を辯解するは却て其の誤解を深うするの嫌あり予は決して斯くの如き禍心を包藏する者に非ざる事を事實に於て立證し辯明するの方針を執りたり、今後我が社業の實際に於て此等猜疑的誤解の自然に雲散霧消すべきを疑はざるなり

▲己に支店を設けたる大連奉天に於ても實際の取引は各般の調査を爲し今後著々として行はるべく其他の土地にも出張所又代理店を置く事となるべし予の今回實視せる處に依りて奉天以北は意想外に社業の進展を要求する者あるが如く近き將來に於て急速の擴張を爲すべきは豫言を憚らざる處なり尙は氏が土產の詩物として旅行中近什の二三を錄せば左の如し

◎永興より（一）

早川磐溪

▲山本征虎團は十八日永興邑著十八十九の兩日滯留する事となりたるが、當地は與地方面に於ける礦山熱旺んなる結果、鑛業家の乘込む者多く、旅館旗亭の如きは大に繁昌を呈し居れり。▲與地方面に於ては、目下採掘中の鑛山は、仁興面に西山氏經營の金山あり、古寶面に藤田組の金山あり、長興面に山下木村兩氏の其他鑛あり、近く發見せられ、輸に依り銅鑛發見せらる、等北鮮の富源は廣寶なる鑛業家の手に依つて、著々開發されつゝ有るが、其惠澤は直接間接に永興の繁榮を助長し居れり。▲數年前は鐵砂氏の爲め、全邑全滅の悲境に陷りたる永興も、年と共に恢復して今や內地人口五百、朝鮮人口三千六百と算し、逐年人口增加の趨勢にあり。▲就中運送業の發達と、鑛山に於ける採掘事業の擴張、鐵道工事進捗は勞働者の需要を喚起し、永興郡內の下層民は何れも新に生產を得て、其生活狀態も又向上し來れるもの、如し、而も勞働者增加の結果は、地方の風紀を紊亂し、警察行政年と共に繁劇を加へ來れりと聞く。▲兎も角も與地鑛業の發達と、此れに伴ふ土地繁榮の狀況の平南新安州に劣らざるは、永興の爲めに慶賀する處にして、將來與地鑛業の發興に伴ふ永興の發達は、刮目して見る可き者あるべし。

○日　河

[illegible]

◎東拓移民承認

東拓會社に於ける第八回移民應募受付は此程全部の締切を告げ既に六百五十餘戶の承認書を發送せり

◎古蹟保存の徹底

荻田總務局長談

古蹟保存の事は內地に於ても維新創草の際余り閑却されありし爲め荒廢に委し破却せられたる者少からず今日となりては

▲非常に悔恨し 居る次第なるが朝鮮に於ては昨春始めて古蹟遺物保存取締規則を發布し各道廳は警務部と協力して其の實施に任じ居れり今回一週日の餘暇を得て慶州、蔚山、西生浦等の巡視を爲せしが各地とも同規則の趣旨一般に徹底し遺物保存の行屆き居れるは慶州には數年前慶州保存會を創立し蔚山にては昨年を以て

▲蔚山城址會を新設したり、蔚山城址は鮮人金仲植氏の私有に屬せしが蔚山城址の一半は土地に植林を爲し在りしが全部之を提供せるのみならず他の附近の私有地をも買收し併せて寄附したりと言ふ、蔚山は文祿役の當時淺野幸長の守りたる處にて出城に過ぎず、本城は同地の南七里に在る西生城なるが規模の大小同からざるも

▲共に加藤清正の築城に係り素人眼にも斯術の蘊奧を窺ふべき者あり、慶州の石窟庵は已に其修繕を了し佛國寺は今や進行中に在るも其竣成は決して容易の業に非ず、兎に角同規則の趣旨貫徹し內鮮人の別なく其保存を心掛け居るは甚だ當局の滿足する處なり

◎英海軍敵艇擊沈

ロイド、ジョージ氏は議會に於て英國海軍が十八日五隻の敵潛航艇を擊沈せる旨を發明せり（倫敦電報）

◎米政府鐵道保護

米國各鐵道會社は戰時中鐵道を保護し運輸杜絕の憂ひなき樣必要の處置を執らしむる爲め大統領ウキルソン氏に條件を委任したり（華盛頓電報）

◎敵國人取締峻嚴

米國に於ける敵國人取締規則は頗る峻嚴を極め敵國人は總て其の氏名を登錄せしめ其の船渠、河川、鐵道、停車場又は大西洋沿海に接近し航空機を使用し又は巴奈馬運河地帶に踏入る事を禁じたり（華盛頓電報）

◎觀瀾橋竣工近し

金谷京城府尹は石原第一課長を從へ先般東幕の富豪高允默氏の寄附に係る廢沛の觀瀾橋工事狀況視察の爲め二十一日同地に出張せるが同橋は本年春より工事に掛り愈々竣工の運びとなるべき模樣にて工事費に約一萬餘圓を投せりと

◎京畿道の雹害

十月二十九日京畿道振威郡一圓に降雹あり水稻見積一萬六千七百餘圓に達す

◎立花中將歸任

大演習陪觀の爲め滋賀縣下へ出張中なりし第十九師團長立花中將は二十一日夜龍山驛著歸任せり

◎古海總長歸任

大演習陪觀の爲め內地へ出張中なりし古海警務總長は二十一日夜九時南大門著列車にて歸任す

◎獨逸法研究會

[illegible]

◎軍經理部長歸任

出張中なりし陸軍經理部長は二十日夜龍山に歸任せり

◎鹽澤大佐巡閱延期

鹽澤大佐の京畿道巡閱は二十二日頃出發の筈なりしが都合に依り延期せりと

◎エビソン氏の旅行

セブランス病院長エビソン氏は同病院及び附屬醫學校基金募集の爲め來る火曜日出發米國に赴く可しと

人事消息

[illegible]

百聞百種

東京で大持てのキャプテン、ハーデー翁は怖い元氣者で水兵服が大好き何處へ行くにも水兵服を著て行く▲此の春米西戰爭記念祭に相變らず水兵服を著て行くと▲二十八人計りの非戰論者間が『物騷な著物の佯狂』と冷笑した▲ハーデー老人怒らぬ事か眞ッ赤になつて憤慨して仕舞つた▲得意の拳鬪で二三人を擲り付けた▲其の時に引つ掻かれたのだと手の甲に殘る創痕を示して自慢をするあたり▲何處迄も昔の水兵氣質で面白い老人だ▲今度贈位せられた石黑藤左衛門の今孫準太郎君は一時富山縣の參事會員を勤めて居たが▲以前の選擧騷ぎに殆んど無一文になつたけれど▲戰爭のおかげで船成金になつた所へ今度祖父の贈位▲之れこそ一陽來復だと近く大披露會を催す相な▲東京市會の連中が公園視察とあつて關西から北陸を廻つた時▲大澤朝吉君が駄洒落を濫發してヒドく一行を惱ました▲其處で一同が不快に思つて居ると或る時大澤君好い氣になつて汽車中で高鼾を始めた▲側に居た鎌田芳太郎君が何と思つたのか『金澄大澤の頭に毛があるなどは僭越の沙汰だ』▲と云ひつゝ燐寸を擦るなり大澤君の頭に放火したので大騷ぎとは嘘の樣な實際談

○江戶へ踊りて　戶川蘘花

朝鮮遊歷中の用務、孰事共都合よく運び、無事歸東久振の草庵に旅裝を解き候。（十八日）

わが井戶の水吸て小春腹皷み

朝鮮の長煙管の煙草も、或意味に於ては至極結構と存候。

●陸軍試驗飛行　再び九鐵不正事件の檢擧開始せられ二十一日若松驛長、新棧橋助[illegible]盟休校したり（高知電報）●名物男は徵役　逃亡中の[illegible]の上二十日歸任の筈▲小倉地方主[illegible]各般の準備完成したるを以て十八[illegible]●晉州▲守備隊引揚[illegible]▲晉州面の近況　晉州面役所は新[illegible]●京畿公普校豫算[illegible]●鮮銀券發行週報[illegible]十一日より同月十七日迄[illegible]

購買入札

木炭　貳萬四千四百五拾貫匁

右購買入札ス詳細ハ大正六年拾壹月廿貳日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

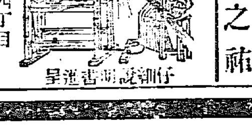
朝鮮總督府

公示第二號

大正六年十二月一日京城商業會議所評議員選擧を行ふ其時間、場所選擧すべき評議員數左の如し

一　選擧の時間
　一級選擧人の投票時間　[illegible]
　二級選擧人の投票時間　正午より[illegible]時迄
二　選擧場　京城府[illegible]
三　選擧すべき評議員數
　一級評議員　內地人[illegible]　朝鮮人[illegible]
　二級評議員　內地人[illegible]　朝鮮人[illegible]

大正六年十一月二十一日
京城商業會議所
評議員選擧委員長　原田金之祐

全製繩機の第一位　上以　田所式製繩機

▲製繩の進步　▲機構の完全　▲代價の安き　▲損傷せざる　▲店舖の古き　▲信用の厚き　▲取引の正確　▲需要の多數
大阪北區曾根崎上四丁目
製作發賣元　田所商會本店
仔細說明書進呈

防寒靴　製造販賣　並に毛皮なめし
壹圓六拾五錢以上其他スリッパ
地方の注文は代金引替にて發送
京城黃金町三丁目　大阪屋

最新刊

書名	著者	定價
商業資金の運用	[illegible]	一、八〇
法律に觸れぬ心得	安達元之助	一、四〇
稅法便覽	[illegible]	五五
模範の日記文	水野葉舟	九五
青年の力	[illegible]	六〇
乾電池及濕電池	[illegible]	八五
自修英語	[illegible]	八五
精神分析法	久保良英	一、五〇
一品三錢で出來るおいしい料理	[illegible]	六五
[illegible]	[illegible]	六五
新譯東京紀行	[illegible]	九五
世界奇聞全集	加藤[illegible]	三、〇〇
美術の部屋	澤木[illegible]	一、六〇
小さき芽	[illegible]	一、〇〇
生くる日の限り	[illegible]	一、三五
死	有島武郎	五五
ファウスト（縮刷）	森林太郎	二、〇〇
煙草と惡魔	芥川龍之助	一、〇〇
髑髏の皮	上司小劍	四〇
結婚の幸福	[illegible]	七五

大阪屋號書店

古鐵商　十二番線及鐵條網持合
京城北米倉町百地番
有好金物店
電話一五四二番

東亞の新製品と一般煙草値上

同業者の決議により吾社發賣の……「百圓」は「金四錢」と改定致し候へ共「千圓」內容を廿本太卷とし品質に大改良を加へ近日賣出可申候間倍舊御引立の程奉願上候

新百圓

嗜好の向上に副ふ
吾社の犧牲的製品
丸形新百圓を提供す

太卷　十五本入　金參錢

京城　東亞煙草株式會社

御注意
空袋十五枚につき　實物一包
空袋三十枚につき　活動券一枚

大阪府を訪問したるものありたり（大阪特電）

●九鐵不正事件 再び論擧開始

●女學生の同盟休校

高知の私立中村女子手藝學校三年生全部校長に反對して十七日來同盟休校中[illegible]年に應ぜられたり（大阪特電）

安東縣

▲驛長歸任　事務打合せの爲め大連本社へ出張中の大[illegible]驛長は序を以て旅順を視察し大連本社へ向へり

▲宴　愛知縣三龍舍を基幹として匿名組合興東公司を組織し安東に於て作蠶製絲事業開始の準備中なりしが愈々此の程に組り工場其の他[illegible]に同公司は事業開始披露宴として七日午後五時より料亭すみれに官民有志六十餘名を招待し盛んなる披露宴を張れり

[illegible]二百四十圓の[illegible]にて將校以下下士卒に至る迄記念品の贈呈をする事に決定せり尚守備隊の家屋は慈惠院瞰醫警官練習所に使用する由

[illegible]徴收すべき戸別税家屋税は戸別税追加金四百八十圓家屋税内地人金四百五十八圓八十錢同鮮人金五百八十二圓七十錢なり

[illegible]

◆新候補者續出せん
京城商議逐鹿戰開始せらる

京城商業會議所評議員の改選期も已に目捷の間に迫り候補者の運動も各方面に弗々開始されつゝあるが孰れも比較的冷靜にして暗中飛躍を試みんと計畫せるもの案外多き見込なり元來商議評議員は一級選擧に在りて二、三票二級選擧に在りても

◆票數は案外少數

を以つて當選するを得る割合なれども此の少票數を爭ふ事に至つては組合議員選擧より以上困難の點ありと云へば其の運動にも一段の苦心を要する模樣なり而かも今回は現在評議員の外新顔議員の立候補も案外多數に上るらしく今迄鳴を靜めて密かに裡面の運動を爲し居たる策戰を俄かに一變し公然名乘りを上ぐるに至るべし、愈々此所數日中には花々しき

◆白兵戰を惹起す

べく風雲急なるものあり今回の選擧有權者數は既報の如く八百三十一名にて内一級は極めて少數にして僅々二十餘票を算するに過ぎず而かも已に一級選擧内地人定員十二名に對して十四名の候補二級選擧内地人定員十名に對して十四名孰れも確定候補を見るに至り尚ほ二級選擧に在ては不確定の候補者六七名はありと傳へらるゝ形勢にして中原の鹿果して那邊に歸すべきか？今日の處旗幟を鮮明にし

◆名乘りを揚げた

る者舊議員に在りては釘本藤次郎（一級）西村道彦（一級）原田金之助（一級）高木德彌（一級）佐野彦藏（一級）林田金次郎（一級）鍋島宇吉（二級）早川立造（一級）篠崎半助（二級）増田三穂（二級）天日常次郎（一級）志岐信太郎（一級）藤田安之進（二級）池田長兵衛（二級）等にして此内一二名は或は候補斷念の説あるも確ならず又た新顔議員として現在運動に著手しつゝある者は吉田勝次郎、進辰馬、梶原末太郎、村瀬鎌次郎、木本倉二、藤富良太郎、福田瀧三郎（日清生命）高良周祐（南大門運送業）の諸氏なるが此外起否未決の者に高島秋人、岩城馨、遠藤廣吉の諸氏注目を惹きつゝありと傳へらる、鮮人側に在りては本年更に二名を増加し八名となりたれば之れ

◆又鏡爭頗る激甚

にして其顔觸は現評議員六名の再選は勿論此他約四五名の立候補ある模樣なり兎角今回選擧は以上の如き形勢にして内鮮人側共立候補比較的多數なれば愈々期日切迫せば目覺しき一大鏡爭を演出すべく殊に二級戰は更に五の競爭は頗る惡戰苦闘たる事免れざるべしと觀測さる

虎狩ローマンス
……（一）……虎は臆病

偶然に出會した一頭の巨虎に[illegible]身體中冷汗タラ／＼[illegible]虎も逃げた[illegible]虎の巣窟[illegible]人里に出て來る時[illegible]

冬の冷めたい陽が暮れると狩獵の露營地には、物悲しい程に寂しい夜の帷が下りて來た。宿舍に充てられた温突には獵服のまゝで横になつたY君とM君が晝の疲れにぐつすり寢込んでゐる。記者は蠟燭の淡い光りを圍んで本田砲手の虎狩ローマンスに聽耽つて夜の更け行くをも知らない、本田砲手はウヰスキーの

▲強烈な刺戟 に顔を燃やしながら語り續ける『……虎程の猛獸でも人間は餘程恐ろしい者と見えて遠くから聲を立てると逃げて了ふが、偶然に邂逅すと窮鼠猫を嚙むの譬通り猛然飛び蒐つて來るのです。つひ二三年前も或る朝鮮人が秋馬上德に分け入ると偶然虎に出會した、獵師ならば見付けたら百年目、蹴つたり叶つたりで一發見舞ふのですが何分

▲身には寸鐵 をも帶びて居ないので絶體絶命、戰く五體を危く踏み止めると七尺に餘る巨虎は目を瞋らし牙を剝き、後足を縮めて體を捻り今にも飛蒐らんとしてゐるぢやありませんか。其の時の恐ろしさは言ふも愚だ、五體からは冷汗が淋漓、逃げんとすれど足は大地に釘付同樣、焦れば焦る程自動きも出來ず、暫しの間は只爛々たる虎の吊眼に睨め据ゑられて居りました。然るに虎の方でも相手の

▲一擧一動に 鋭どく注意し、劔の樣な爪を立て、用心深く構へながら、此方が一步／＼と後へ踏退れば自身も亦一步／＼と後へ退る。斯くて十餘分間も睨み合つてゐる裡に双方の距離が離れると今まで猛進の勢を示して居た虎は俄然風を捲いて姿を晦まして了つた相でありますが、虎位ゐ獰猛で而も人間に對して用心深く臆病なものはないだらうと思ひます。萬一後姿でも見せやうものなら堪つたものぢやありません忽ちの中に

▲身は八裂き にされて了ふのです……』堅くなつて坐つて居た本田砲手は此時、膝を崩して更らに語り出す『何分用心深くて臆病の動物ですから其の生活狀態も頗る趣きが異つて居ります。先づ棲家にしても岩石峙つ深谿の而か千仭の斷崖に洞窟を選び、然かも其は巢窟遠く離れないで、山羊や鹿の通行する山腹七八合目に獲物を漁めて、所謂虎視眈々として獲物を狙つて居ります、獵物が近に側さなる可き者が盡きると十里でも二十里でも

▲人里近くに 出て來て犬や豚や牛を攫つて行くのです。つひ先達も此の彌洞里から奥へ四里計りの邊で牛が喰ひ殺された、その外犬や豚の被害も大分ありましたが朝鮮人は山中で虎の咆る聲を聞くと瞻を潰して了ひます。尤もあの唸り聲を聞いたら人間計りでなく、百獸が慴伏しませうよ。何にせよ二里位ゐ迄は響きますからね……』（元山にて早川特派員）

小春

◎征虎隊第三班 巨虎を殪す

征虎隊第三班の白雲鶴の一隊は咸北城津の山奥にて巨虎を追跡中なりしが二十日夜鶴西面の深山にて七尺の牝虎一頭を殪せりと本隊一行は二十二日元山發咸興へ向ふ（元山特電）

◎犬殺し死刑

京畿道抱川郡加山面金峴里農萬石の妻鄭氏（二〇）は大正六年三月何日か京城府洞生にして同里に出稼ぎ中なる朴七福（三七）と懇意を通じ其の結果萬石を亡き者にして兩名同棲せんとするも萬石は稀なる强力男とて其手段を考究しつゝ時機を俟ち居る内五月十一日朝兩名は里内李鍾林方に婚儀あり近隣の者等は悉く婚家と會飲するより萬石が酩酊して歸宅し熟睡中を殺害せんと七福は同日夕刻萬石と共に歸宅し萬石が敷居を枕にして熟睡したる際敷居下に穴を穿ち麻繩を以て萬石の頸を輕く縛り置き其の一端を壁の穴より通じて遠方より引つ張りて遂に絞殺したるものにて其の後兩名共檢擧され京城地方法院にて兩人共死刑の判決を受けしが之れを不服として同覆審法院に控訴せり

♣鬱陵島の雪割草

△藥用と福壽草の代用
△島内到る處に繁殖す

京城三坂町横瀬植物株式會社にては客月末雪割草採取買入れの爲め社員を鬱陵島に派遣したる由なるが今回同島に於ける雪割草の狀況を聞くに右は今春中井農學士の來島に依り發見せられたるものにして藥用として使用さるゝのみならず鼓は雪中鮮な花を以て開花するを以て其の名ある如く冬期福壽草の代用として一般園藝家に愛玩せられ居る由右會社にて今回該草を花鉢の上一千貫を買入る豫定にて島司に於ては本年同島旱魃の爲め食糧の缺乏を來し居るを以て島内の貧民をして之が採取を爲さしめ以て食糧の資に供せしむる爲め同社員と協定の上各洞民に指示し洞内の貧民をして夥しく採取せしめ島府に於て取纏め目下整理中なるが該草は一年草にして島山野到る處に繁殖し藥種藥用及び[illegible]用として多量移出さるゝに於ては同島農民の有望なる一大副業として期待せられ居れり本年に於て千貫に對する代價七百圓（一貫目七十錢）を得る見込なりと（大邱）

◎狂言自殺か

岡山縣生れ龍山漢江通十一番地居住京城櫻井町活動寫眞館大正館機械係龍興男（二七）は二十一日午前二時五十分頃[illegible]飲食店[illegible]方にて猶事佐々木と方にて出刄庖丁を以て自殺を企てたるのことに係官出張取調べしに胸部を傷けたるのみにて生命には別條なく此の少の出血あるのみにて原因不明なるも元來[illegible]には[illegible]といふ内縁の夫あり[illegible]其の不在中龍興と關係を結び[illegible]近所の噂に上り手を切ることゝなりたるも尚未練あり其の爲め狂言自殺を企てしものゝ如し

◎虎狩隊 全南枝隊活動

山本唯三郎氏の虎狩軍全南枝隊は光州無等山を境にして西南方面は今藤孝一氏引率し砲手四人勢子七十人東北方面は金覺日引率して砲手四人勢子八人を以て組織され去る十五日より各隊愈よ大虎狩の壯擧に就けり無等山の西南に出動せる今藤隊は綾州より松石面に出で烈に陽崩附近を狩り立てつゝ進軍せる陽崩場一里程の山中にて大虎の足跡と稍少なる豹の足跡とを發見し追跡中なりと

◎電車ご馬

二十日午後[illegible]時五十分頃[illegible]二丁目二十九番地先[illegible]路電車路切にて[illegible]折[illegible]路を發し南大門に向はんとする電車百十一號と[illegible]町一九五荷馬車[illegible]と衝突したる[illegible]荷馬車[illegible]小破損[illegible]負ひたるのみにて[illegible]の自體には故障なかりしを以て二圓の治療代にて示談事濟みとなれり

◆虎の片足を庖丁で斬取つた女

▣或處に非常に臆病な女がゐて何時も自分の夫にいぢめられてゐたが、或日自分の夫が山に柴刈りに往つて留守中の事であつた。その女は一人で臺所で大根を洗つてゐると流しの間から大きな虎の足がヌーツト入つて來た。その女は根が臆病なところへ唐突に虎の足が入つて來たものだから腰を拔さんばかりに驚いた。しかしこの虎を一つ退治して臆病者だといぢめられた年來の自分の恥を雪がうと思つて庖丁を取出して力に任せて虎の足を切つた。女の力とはいふものゝ渾身の勇を振つて打切つたものだからなんぼ虎でも堪らない切られたのか燒かれたのか知らないけれども目の玉が飛出す程熱い樣な氣がして螺旋仕掛の人形の樣に飛上つて見ると自分の足が一本チョン切られて了つたのであつた。

▣虎はあまり驚いて自分が流しの中に足を入れた事は忘れて了つた。そして側を見ると一緒に來た虎が此奴何うしたのだらうと云つた風に怪訝そうな顔付きをして自分を眺めてゐた。足を切られた虎は『こん畜生！御前が俺を殺さうとしたのだな』と云つて飛掛り樣にその虎を嚙殺して自分も遂々死んで了つた。そこでその女は樂々と二匹の虎を捕つた。やがて男が山から歸つて來て見ると今まで臆病者だと思つて虐めてばかりゐた自分の妻が庖丁一本で虎を二匹まで捕つて自分の歸りを待つてゐたのでその後は妻に對して大いに恐入つたそうな

◎福島縣人會

京城居住福島縣人會にては來る二十五日午前十一時より壽座に於て總會開催同日は特に家族同伴にて多數の出席者ある筈にて餘興として活動寫眞二輪加、手品等の催しありと

◎人夫壓死

龍山三角地附近にて[illegible]工事の土砂採掘人夫が十八日從業中突然土砂崩落の爲め人夫一名壓死せり

◎事務員[illegible]

[illegible]

朝鮮田舍と醫藥
≡患者の難澁≡

[illegible]一郡に一人の公醫では到底患者に滿足を與ふるだけの時間の餘裕も設備も出來得べき筈がなく、爲めに患者の多くは慈惠醫院が[illegible]醫院に[illegible]

▽普通患者で あれば別に大した費用も要らないが萬一傳染病の患者であれば同じく慈惠醫院に入院するにしても馬や人の肩で數日間も搖られ／＼で漸つと醫院に到着して治療を受けるといふ遠隔の地方も多く、中には折角莫大な費用を投じ長き時日を費して入院治療を受けても退院後自家門前で死亡したといふ悲慘なこともあり數年間の貯金を

▽一回の病氣 に文無しになる[illegible]未だしも前途有望な青年醫師が奮[illegible]中途で夭折するやうな例は内地よりも遙かに多い事實である。けれども又た一面から見れば斯る不便な[illegible]に行つては[illegible]も收入が僅はない爲め容易に生活が出來ないと言ふ一[illegible]

▽人煙稀れな 邑内などでは内地人は尠し、相手にするのは鮮人患者のみであるが、其の患者の來るのも市日に限られてあるは、市日は大抵な重症患者でも此の日に[illegible]市日に買物の序に擔がれて來たりして市街の[illegible]診察よりも先に胃病の藥を貰ひたいとか風邪藥を一[illegible]と云ふ調子で醫院を[illegible]に思つてゐる其れでも[illegible]

▽一應診察し て藥を與へると散藥の如きは飲み方を知らない[illegible]醫師では其の飲み方から飲む時間迄も一々懇切に教へてやらねばならぬ、爲めに潔癖性の人や面倒臭がる人では迚も勤まらぬ。田舍では開業は不可能の事である。と共に醫藥類の搬入にも不便であり一面には生活が無趣味の爲め篤でなか／＼長續きのする醫師は少ない

本場秩父銘仙五百反限
明二十三日より二十五日迄
◎特價提供◎
これは昨今下落せる相場に少しも目錢を見ない實際の格安品に御座候間何卒多少に不拘御用命の程希願上候
尚ほ近頃只[illegible]
[illegible]
十一月二十二日
京城本町 [illegible]
電話 八九〇番

▣七色珊瑚

黄金館にては今回大阪毎日新聞に連載中の小杉天外作の小説七色珊瑚を上場すべく該劇は天活にて本月十六、七、八の三日間に亘りて新たに撮影せるものにして出動俳優には五味國太郎、山田好良等新加入として活動し居れり然して同館員は二十一日夜南大門驛着二十二日夜より上場せらるゝことゝなれり、然して今回の七色珊瑚と共に天活より女辯士一名を特派し來りし由なるもの左の如し

▣有樂館　同館にては二十一日より亞米利[illegible]博士の[illegible]四巻△[illegible]△新派悲劇七色珊瑚四巻[illegible]

▣浪花館　喜劇喜樂會一行にて可なりの好評を博し居れり

▣正誤　二十一日夕刊師前結婚の項中森原、小瀬兩氏の「氏」を脱したるは補正す

誓文拂大賣出し
來ル廿三日ヨリ廿五日マデ
破天荒 大提供
特に格安見切品多し
京城本町三丁目
丸一呉服店
電話[illegible]

大阪毎日新聞連載中
小杉天外氏傑作
家庭悲劇 七色珊瑚
▼明廿三日（[illegible]）
[illegible]
晝夜二回公開
黄金館

[illegible]

櫻御殿

大阪　霞の家主人

第七十四回

安藝の月（十四）

もし、釆女に奥方の息が掛つて居なかつたら、清之亟は直に白刄を向けたかも知れなかつた、少くも正則に對して、釆女の身上に疑ひのある事を囁いたかも知れなかつた

併し、その背後には美知姫が居る、釆女を疑ふのは美知姫を疑ふことになる、美知姫は若殿の奥方で且は家康の孫、そこに深い遠慮がある

『此の事は人へ口外はならぬ、別してお舘樣のお耳へは入れられぬ萬一要は彼の擧動に目を付けて、萬な

一不審のあつたとき、罹り掛つて一刀に刺し殺す外はない、勤務に種々あるが、第一の御奉公は、釆女初めの擧動を監視するが肝要ぢや』と覺悟する

留うして絶えず深甚の注意を拂つた、釆女の身の上に、不審の目を付けて居たは、六萬餘の家來の中、清之亟一人であつた

清之亟が情なくするほど、初瀬の戀は火を燃え立つ、關ケ原御陣の前までは、天にあつては比翼の鳥、地にあつては連理の枝、今にも御年季が開いたら、御二方の御許可を得て、芽出度く祝言の盃を擧げませう、おゝ擧げやう、と言ひ交したのが、合戰の中にがらと變つて、清之亟は彼方を向く、手を觸れたら燒けもしさうに見えて居た戀が冷え切つて、十度、二十度、三十度、消息しても、只の一度も便りがない

『どうした譯であらう、何がお氣に障つたのであらう』と初瀬は夜の目も寝ずに悲む、その戀が人の目につく

『初瀬はどうしたのであらう、病氣なら養生をさせねばならぬ』

遂には美知姫の口にも付いて、仲好の芳野へ話を傳へた、芳野も同じ思ひであり、且つ熱く初瀬の心中を知つて居た

『世には焦れた戀もござります、されど初瀬の戀ほど焦れたのはござりませぬ』

美知姫は初めて聞いて吃驚した

『何ぢや、戀ぢや』

『切ない戀でござります、命に懸けた戀でござります、彼のまゝに捨て置いたら、思ひ死に死ぬか分りませぬ』

芳野は清之亟と初瀬との間を語つた、一時は火と熱し、今は氷と冷え切つた變遷を詳しく述べて

『男の心ほど變り易いは無いもの』と聞きますが、清之亟殿見るやうに、掌を反すやうに變つた戀はござりませぬ、初瀬殿の病氣の原は、全くそこにござります』と云ひ足した

美知姫は情深い女性であつた、芳野の語る處をつくづく聞いて

『さてさて不憫や、捨て置いたら死ぬであらう、表向きはなるまじけれど、内々の通路もある、それた手引きして、清之亟に逢はせて遣りやれ、最も清之亟を奥殿へ伴れることはならぬ、初瀬に當座の暇を遣はす、此方から訪ね行き、取り縋つて心の丈を口説いたら、清之亟も木竹でない、少しは心も和がう、燒杭は燃え易い、一たん燒けた鐵板は熱をよく吸ふ、長い間の朋輩ぢや、その位の便宜は見て遣らねばなるまいぞ』と親切な事を云ふ芳野は嬉し涙を溢して

『有難うござります、厚うござります、只今の御口上を傳へたら、初瀬は心からお情に泣きませう、お許しもある上は、すぐ戯ばせて遣はします、清之亟の心變りは、誰ぞが水を加したのに違ひござりませぬで、逢ふて事情を話つたらきつと心が通ひます、心が通へば元に復る、初瀬の命は方樣のお情で取り止める事が爲きました、有難うござります』

芳野は幾度も禮を述べて、その場から初瀬の部屋を訪れた、初瀬は本々と痛む頭を兩手で抑へて泣いて居る

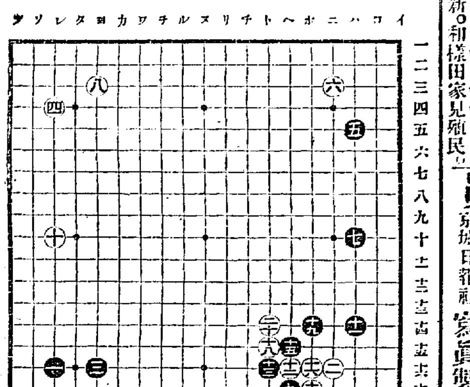
京染 呉服 京城永樂町一丁目 たまや出張店 電話一二九六

銃 修繕 多年經驗と完全なる設備 玉井銃砲工場 龍山元町二 電話五三八番

圍碁手合（一）

三段 山平壽氏　初段 先 松尾清太郎氏

黑ッ六十ノ(一)より白ト十四の(二十)迄



全南遊草

榧松 福岡尚志

榮山浦

榮山江碧汐迴瀾。散去薇來停客帆。百尺樓頭閒寄檻。炊烟一洞曉光曦。

榮山浦至靈巖途上口占二首

嫩芽寸寸近分秋。一路薰風麥浪黃。新雨落來川含喜。今朝農事太多忙。

官遊一劍結芒鞋。貫朧廻山驛路遲。南地風光多別趣。松林竹藪見人家。

靈巖邑

月出風翠縹炊烟。當戶高巖時午天。觸酒酣時猛虎。客魂昨夜興淒然。

長興邑 二首

山勢巉巉繞四囲。一區松竹綠蒼蒼。古城懸蹟留遺跡。倘見當年太后鄉。

清和樓廢不留址。殘礎惟存風雨餘。永禧房顔江水碧。長興橋下釣香魚。

葬入康津

送迎風物觸眸新。和樣田家見殖民。才渡板橋三里路。驛鈴搖罷入康津。

康津邑 二首

來遊此地賦詩勝。九十浦頭景可稱。水色山光猶舊態。樓空臺廢古金陵。

三山峰絶見靑嵐。九十浦平藍碧涵。解得兒童東土語。已知王化洽全南。

康津旅館

康津旅館荏新阡。遠近靑螺疊闇然。度水薰風凉萬斛。金鰐潑剌躍淸漣。

京日報俳壇

天川 青霄 選

秋季雜詠（五）

避病舍の灯が見えて花野かな　山崎坊
風に飛ぶ夕雲や花野雨　同
庭廣う散る粉殼や秋の雨　同
桐の實が風に鳴るなる森の秋　同
日車草の伐り株に蜻蛉飛ぶ　同
收穫の塔見ゆ蜻蛉飛ぶ夕べ　同
笑ましげな佛像や祭　同
桐一葉心耳に觸るゝ響かな　同
我が秋を自知"明る"桐一葉　同
初雁や倚り心地よき竹柱　同
球ら陽の巣渡り端出し　味
蟋蟀や窓より續く草の闇　同
蟋蟀や逢ひ聞む灯澄む心　同
蟋蟀に語る往徒步鳴上哉　同
閼伽桶に松葉落ちる墓參哉　逐
垣外な語りもそゆく墓參哉　同
名所訪ね誰鮎の鮓も食ふ　待
鈴蟲や秭を刻む納屋の音　忍
泥に染む足白き鷄秋出水　背

◎金郊對座吟（十八日の日曜）

[illegible]

新刊紹介

▲飛行少年（十二）[illegible]

◎ライオン商廚の名譽 [illegible]

寫眞 京城日報社寫眞製版部

海運界色めく 米鐵打切影響

船舶管理令並に米鐵解禁交換問題保留中なる…たると同時に船舶提供は不要となりしを以て目下遞信當局の手許に保留しある海外傭船は右交渉の打切りと同時に許可指令の發表を見…

大連林業計畫

…廻廿七圓近海廿三圓見當を唱へ前途益々昂騰すべき氣勢を示せり…あり（二）火災防止にも耐久性に富む（三）松は用材とし作は薪炭に用ひ五伐して牛林保存の作用をなす等の利益あり先づ來年度に於て…業を行ひたり斯くて今後每地該計畫を續行すると云へば十年後に於ける大連附近の山岳は其姿容を一新して…

浦鹽物價稍低落

浦鹽…と他方朝鮮線の雜品輸送の爲め多數の貨車を運轉するを以て現在以上の運搬は不可能なるべく從つて內地への供給は…物價は稍低落し牛肉一斤六十五哥豚肉八十哥羊肉は七十哥…

二十一日 大阪株式同電

日本郵船 二九五.九〇 同新株 二七八.五〇 堂島米株 一七七.五〇 東京株式 [illegible] 大阪株式 二七九.五〇

京日案內 普通（一回前金）一番外

寫眞技師至急入用 群山 古川寫眞館

給仕募集 年齡十五歲より十八歲位の男子本人來談あれ 京城鐵業所 永樂町二ノ七

日鮮人男女外交員募集 毎日午前中面談 大和町一丁目十五番地 第一興業株式會社朝鮮支店

蜂雀及裁縫女入用 上の夫婦者にして入込に限る 年四十歲 午前中面談す 京城旭町 君の江

高價買受 古本 御報參上 明治町 野村

生計月收の御方へ 京城府大和町三の三二 電話三五一番

恩給年金立替 京城若草町自六 西村商會

小川增二郎 京城旭町三 小川喜平

乳母入用 御望の方は電話一一六八三へ

乳母雇入 三田政商店

解雇 岡崎吉三郎

簿記實踐教授 京城長谷川町八九 金谷簿記專修學院

恩給年金立替 京城櫻井町 博多屋

ほねつぎ 柔術道場 明治町

銃砲火藥 增戶銃砲店 京城本町三丁目

銃砲火藥獵具 瀧川銃砲店 京城明治町 電話三〇二

一夜でナヲル かぜ藥 せきにもヨクキク ツムラの風邪 消熱散 試驗はタツタ朝まで八時間 本舖 津村敬天堂

特約店募集 資金貸與の方法有

りん病

流經新藥レスノリン

月經

京城○○醫院

ナイス 赤毛染 色も艶も申分ない おらが染 ナイスが第一 發賣元 大阪 丹平商會

模範 牛乳 ニウソ 東亞牧場 京城蓬萊町四丁目

富の道しるべ 京城日報社代理部

資本金參百萬圓 當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候 明治卅八年設立 株式會社 漢城銀行 京城府南大門通四丁目五番地 頭取 李允用 專務取締役 韓相龍 支配人 張弘植 電話 六四六番 二三九番 振替京城二一〇六五番 支店所在地 水原、平壤、大田、開城、南大門 出張所所在地 鍾路、東幕

優等清酒 一鶴 發賣元 本莊酒店 黃金町百九十一番地（若草町四ツ角） 電話六五四番 振替京城二〇六番

時計及蓄音器卸商 明治二十八年創立 喜多金光堂 京城黃金町二丁目 電話一〇一五 振替京城七八二

かぜ熱 婦人冷込藥 風邪を召したら必ず一服お實驗なさい 守妙 守田の妙振出し 守田治兵衛

最上醬油 朝鮮仁川港 高杉醬油釀造場

贊化病院 內科 小兒科 入院隨意 無料施療す 醫學博士 古城憲治 上野亮藏

釜山出帆廣告 汽船 和歌浦丸 立神丸 元山丸 和歌浦丸 立神丸 元山丸 第三筑紫丸 第三宇品丸 門司、宇品、神戶、大阪行 天眞丸 大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆 群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行 秀吉丸 六有丸 神代丸 君が代丸 高杉回漕部

阿波共同汽船仁川出帆 芝罘、大連行 共同丸 本町四丁目 野口商會 京城取次店 河村運送店

大阪商船仁川出帆 朝鮮郵船 日本郵船仁川出帆 大連行、太沽（天津）牛莊行 相模丸 高砂丸 三河丸 堀回漕部